

# 土山地域田舎の地域づくりフォーラム

## 子どもを地域で育てる つながる居場所づくり



子ども食堂は、貧困対策に限らず、子どもから大人まで誰もが集い、つながる地域の居場所としての役割を担っています。大野学区で活動する「子ども食堂あいうえお」は、月一〜二回、親子で過ごせる居場所づくりを行っています。食事の提供に加え、季節行事や体験活動を通して、子どもたちが自由に遊び、「あれダメ」と言われることなく、友だちと会い、自分のやりたいことを楽しめる場となっています。また、地域団体やボランティアとの共催・協力により、世代をこえた関わりも広がっています。家や学校以外に居場所があることは、子どもや保護者の支えとなります。地域で子どもを育て、居場所づくりを通して地域を盛り上げていきたいという思いが伝わる実践報告となりました。

子ども食堂あいうえお  
大野麻由美さん

## 地域共生社会実現にむけて

甲賀市役所地域共生社会推進課 中井浩喜 さん

最初に地域共生社会とは「困っていたら『助けて』と周りの人に伝えることができる。それを助け止める人がいる。ひとりひとり困りごとを解決に向けてみんなが考える社会である（永田祐教授）」と紹介されました。引きこもり、虐待、生活困窮など様々な生活課題は、複雑化・複合化して今までの取組みでは課題解決に至っていません。解決には、制度的に分野、属性を問わず丸ごと受け止めるという包括的支援体制を整備することが必要です。また、生活課題が複雑化・複合化するなか社会的孤立が増えています。社会には血縁、地縁、社縁がありますが、もう一度、昔に戻るのはなく新たな支え合いのカタチが必要。それは、趣味の会、サークル、ボランティアなどであり「第四の縁」と呼んでいます。そして特に悲しみ、痛み、生きづらさなどの「弱さ」を分かち合うと、支え合いが生まれてきます。一人の困りごとを地域みんなが考え、地域づくりまで押し上げる。その過程で沢山の対話をすると必要であると話され、コミュニティ活動の重要性を再認識させるものでした。

## おもてなしサロンから自律型サロンへ

これから地域の高齢者の願いでもある「みんなが集まれる居場所」が増えていくって欲しいと思います。

南北東区地域で今回様々な課題を乗り越えて百歳体操を立ち上げられた過程を聞かせて頂きました。会場費用の免除、不足している備品、また、福祉推進員と協力しチラシの配布など、課題をクリアしながら区の理解と協力を経てスタートされました。土山町内では各地域で百歳体操が行われていますが、運営に携わる支援者の担い手がいないことも課題になっていきます。そのような課題に対して自律型サロンにより運営されたことで、支援者が「お世話をする」立場から「伴走する」立場に変えた事は、継続運営のお手本となると思います。



南北東区支援者  
中川 浩さん・安井美子さん

## eこころステーション甲賀の取組について

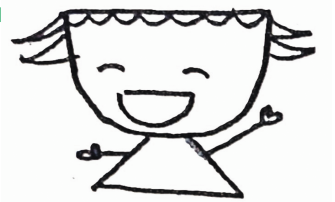
「エコで温かい心がつながる」という思いを込めて令和二年度に設立された「eこころステーション甲賀」では、フードロス削減と食品を生活困窮者に提供する活動を、熱意あるボランティアスタッフで運営されています。甲賀地域の善意で集められた食品を支援希望者や子ども食堂等へスムーズに届けられる仕組みを甲賀市社会福祉協議会とともに試行錯誤の中で確立されました。その取り組みの中で、民生委員児童委員とボランティア間の連携が図られ、支援希望者との信頼関係が生まれるとともに、善意の寄付者が増え、地域住民の理解が深まり、支援の輪がどんどん広まっている状況を報告いただきました。沢沢栄一氏の「みんなの手を取り合いましよう」という言葉をモットーに、今後もボランティア活動の普及やご近所福祉でのボランティア活動の在り方の検討を持続可能な事業運営の課題に据え、取り組んでいきたいと語っていただきました。



井村龍造さん・渡邊満栄さん



## フォーラムに参加された多くの方から ご意見をいただきました



参加されたみなさま  
のご意見・ご感想

- ◆ 社会保障のスキマについて孤独孤立について保障が無いことがわかりました
- ◆ お互いに話し合い（言える、聞く）出来る場が必要であると感じた
- ◆ 住みたいと思える地域づくりをする必要があると感じた
- ◆ 一人の困りごとを丁寧に聞いていかなければならないと改めて感じました
- ◆ 基調講演で「ボランティア」そのものについての考え方や参加の仕方についてあってもいいのではないかと感じた
- ◆ 縦割り行政にこぼれ落ちる人がいる事を理解していなかった
- ◆ 人と人との関係は煩わしい事も多いが大切な事も感じた
- ◆ 百歳体操やみんなの居場所づくりを今後も続けて行きたい、誰もがホッとできる場所
- ◆ 所にたくさんの方が参加してもらえるように努力したい

ありがとうございました



## 土山地域田舎の地域づくりフォーラムを開催

### 「居場所づくり」を考える

令和七年十一月十五日(土)に土山開発センターにおいて「土山地域田舎の地域づくりフォーラム」を開催しました。地域には、一人暮らし高齢者、認知症高齢者が増え、引きこもり、虐待、生活困窮など様々な生活課題があります。これらの課題解決に「居場所づくり」は大切な一つと言われています。そこで、なぜ地域に「居場所づくり」が求められているのか、また課題は何かなど皆で考えようと今回のテーマを設定しました。

まず初めに、現在、求められる地域共生社会とはなにか、甲賀市健康福祉部地域共生社会推進課の中井浩喜様にお話を頂き、次にすでに地域で取組んでおられる居場所づくりを三事例紹介して頂きました。一番目が地域の子どもの減少していくなか子ども同士、さらに大人も交えてふれあいの機会を増そうと進められた「子ども食堂あいうえお」の活動を大野麻由美様から紹介頂き、二番目に「おもてなしサロンから自律型サロンを目指し」新しくはじめられた百歳体操の取組みを中川浩様と安井美子様から報告頂きました。

最後は甲賀町の井村龍造様からフードバンクと居場所づくりを組み合わせた「eこころステーション」の取組みを紹介して頂きました。

今回は、百二名の参加を頂き、開錠からの質問も多くあり、みんなで「居場所」の大切さについて考える機会となりました。



会場からの質問の様子

主催：土山地域ご近所福祉推進協議会・甲賀市社会福祉協議会土山地域福祉活動センター  
 共催：土山町民生委員児童委員協議会・土山地域区長会・羽ばたけ鮎河自治振興会  
 山内まちづくり協議会・土山学区自治振興会・大野地域自治振興会  
 JAこうか土山地区ふれあい委員会

## ～百歳体操で自律型サロンをめざそう～

土山町福祉推進員研修会 (共催：土山地域福祉活動センター)



eスポーツ体験の様子

六月七日(土)、土山町福祉推進員研修会を実施しました。福祉推進員の役割についてお話がありました。

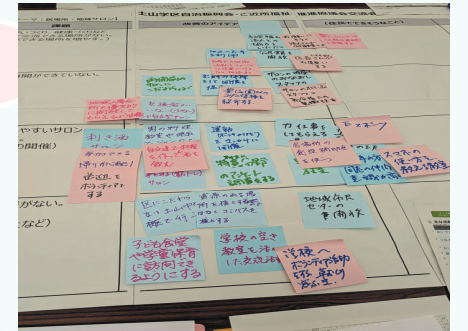
また、今回は地域のつながり、居場所づくりの実践として、各区や自治会で取り組まれている「百歳体操」の体験がありました。この体操は、無理なく安全に行うことができます。だれでも気軽に参加できる筋肉運動なので、健康寿命につながります。その後、eスポーツ体験も、多いに盛り上がり楽しい時間を過ごしました。百歳体操やeスポーツも高齢者自らが運営できるサロンのひとつになるのではないのでしょうか。

## 土山学区自治振興会地域福祉部との交流会

六月十七日(火)、土山コミュニティセンターにて、土山地域ご近所福祉推進協議会と土山学区自治振興会との交流会がありました。

今回はサロン活動について話し合われ、男性がなかなか参加しにくいとの意見もあり、「酒のあてをつくる料理教室、体を鍛える筋トレなど、サイクリング、飲み会」など、男性の好きな事をして交流を促してはという意見が多くありました。その他、多世代交流の場がない事については、「子ども食堂とサロンが一緒に活動する、おばあちゃんの料理教室を開催する」などの意見がありました。また、すべての事に関して高齢者の送迎の問題があります。「送迎ボランティアをつくる、近所の集会所やお寺で行う」などの案が出ました。

今後も社協や地域の福祉施設などと協力して進めていければと考えています。この様な交流会を、土山地域以外の地域や他の団体とも継続していきたいものです。



## 地域で取り組むフードバンク事業

土山地域は市内で唯一フードバンク拠点が設置されていない地域です。そのため以前から土山地域へのフードバンク拠点の設置が望まれてきました。

このような現状を鑑み、生活支援を志されている「JA土山地区ふれあい委員会、平和堂フレンドマーケット土山店、土山町仏教有志僧侶の会」をはじめとする地元企業・団体等に参画いただき、令和八年四月を目標に「(仮称)フードバンクあいの土山」への取り組みを進めています。開設場所は、土山地域市民センター三階としており、現在必要な資機材の準備を行っています。

「食」は生きるための一丁目一番地です。開設の暁には、改めて地域の皆様にお知らせをします。その際は食材提供等ご協力を宜しくお願いいたします。

発行元：土山地域ご近所福祉推進協議会

【メンバー】 中島仁史・辻林 修・久田政二・大家晴美・大野麻由美・武田真吾・谷 綾子・八田 忠・野口一徳・上野喜久治・土山真弓・大橋美耶・石田 恵・竜王真紀  
 【お問い合わせ】

甲賀市社会福祉協議会土山地域福祉活動センター (本馬)  
 Tel 0748-66-2001 Fax 0748-66-2004  
 〒528-0211 土山町北土山1715 土山地域市民センター3階

